

一級自動車工学科			2026年度 授業計画			
時 期	3年後期	単 元	実 習	教科名	騒音・振動	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産2級TSテキスト 振動・騒音編		発行日	2026年3月22日
総時限	43時限				教科 担当	國枝 真樹
必須時限	43時限					
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士としてシャシ系統全般の整備の実務経験がある教員により騒音・振動および、故障探求について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. 振動について理解する。 2. 騒音について理解する。 3. 振動と騒音の関係について理解する。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）						
1. 振動源が特定できる。 2. 音の発生源を特定できる。 3. F F Tアナライザーの使用ができる。 4. 振動の具合を作成し、F F Tアナライザで解析、原因の究明を行う。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・実習履修試験で評価する。実習履修試験は40分間で実施する。 実技試験により100点満点で評価する ・合格点：70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習						
・「日産2級TSテキスト 振動・騒音編」の内容を予習しておくこと。						

一級自動車工学科

2026年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	騒音・振動	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	騒音・振動の基礎知識				日産2級TSテキスト 振動・騒音編	学生持参
2	騒音・振動の基礎知識				車両	15
3	騒音・振動の基礎知識				FFTアナライザ	10
4	騒音・振動の基礎知識				音源探査機	1
5	測定機器について				サウンドスコープ	5
6	測定機器について				コンサルト	10
7	測定機器について				ウエイト	適量
8	測定機器について				バンド	適量
9	シャシダイナモでの振動測定について					
10	シャシダイナモでの振動測定について					
11	騒音・振動の測定					
12	騒音・振動の測定					
13	騒音・振動の測定					
14	騒音・振動の測定					
15	騒音・振動の測定					
16	騒音・振動の測定					
17	騒音・振動の測定					
18	騒音・振動の測定					
19	騒音・振動の測定					
20	騒音・振動の測定					
21	騒音・振動の測定					
22	騒音・振動の測定					
23	騒音・振動の測定					
24	騒音・振動の測定					
25	騒音・振動の故障探求					
26	騒音・振動の故障探求					
27	騒音・振動の故障探求					
28	成果発表 フィードバック					
29	騒音・振動の故障探求					
30	騒音・振動の故障探求					
31	騒音・振動の故障探求					
32	騒音・振動の故障探求					
33	騒音・振動の故障探求					
34	騒音・振動の故障探求					
35	騒音・振動の故障探求					
36	騒音・振動の故障探求					
37	騒音・振動の故障探求					
38	騒音・振動の故障探求					
39	騒音・振動の故障探求					
40	騒音・振動の故障探求					
41	騒音・振動の故障探求					
42	騒音・振動の故障探求					
43	期末試験					